

【研究概要】

本研究の目的は、高齢者の閉塞性睡眠時無呼吸 obstructive sleep apnea (OSA) はサルコペニアと口腔機能の関連を検討することであり ①65 歳以上でどの程度の潜在的な OSA が存在 ②舌圧・咬合圧・咀嚼能率などの口腔機能・口腔内状態と OSA に関連 ③サルコペニアと OSA に関連の 3 点を明らかにする。口腔内の筋力を反映する舌圧や、舌の動きや咀嚼筋の筋力を反映する咬合圧と咀嚼能率、あるいはサルコペニアのバイオマーカーとして注目されているクレアチニン/シスタチン C 比を測定する。